

2026年3月期 第1四半期

決算説明資料

FY2025 Q1 (2025年4月1日～2025年6月30日)

株式会社スクロール

証券コード：8005（東証プライム）



1. 2026年3月期 第1四半期 決算概要 P.2
2. 2026年3月期 通期業績予想 P.12
3. スクロールグループ中長期ビジョン P.14
/FY2025経営計画
Marketing Solution Company
4. Appendix P.18
 - ・事業概要
 - ・会社概要

2026年3月期 第1四半期 決算概要

ハイライト【連結】

- 増収減益。
 - 売上高はソリューション事業の成長により増収。
 - 利益面では通販事業の受注減の影響により減益。

(単位：百万円)

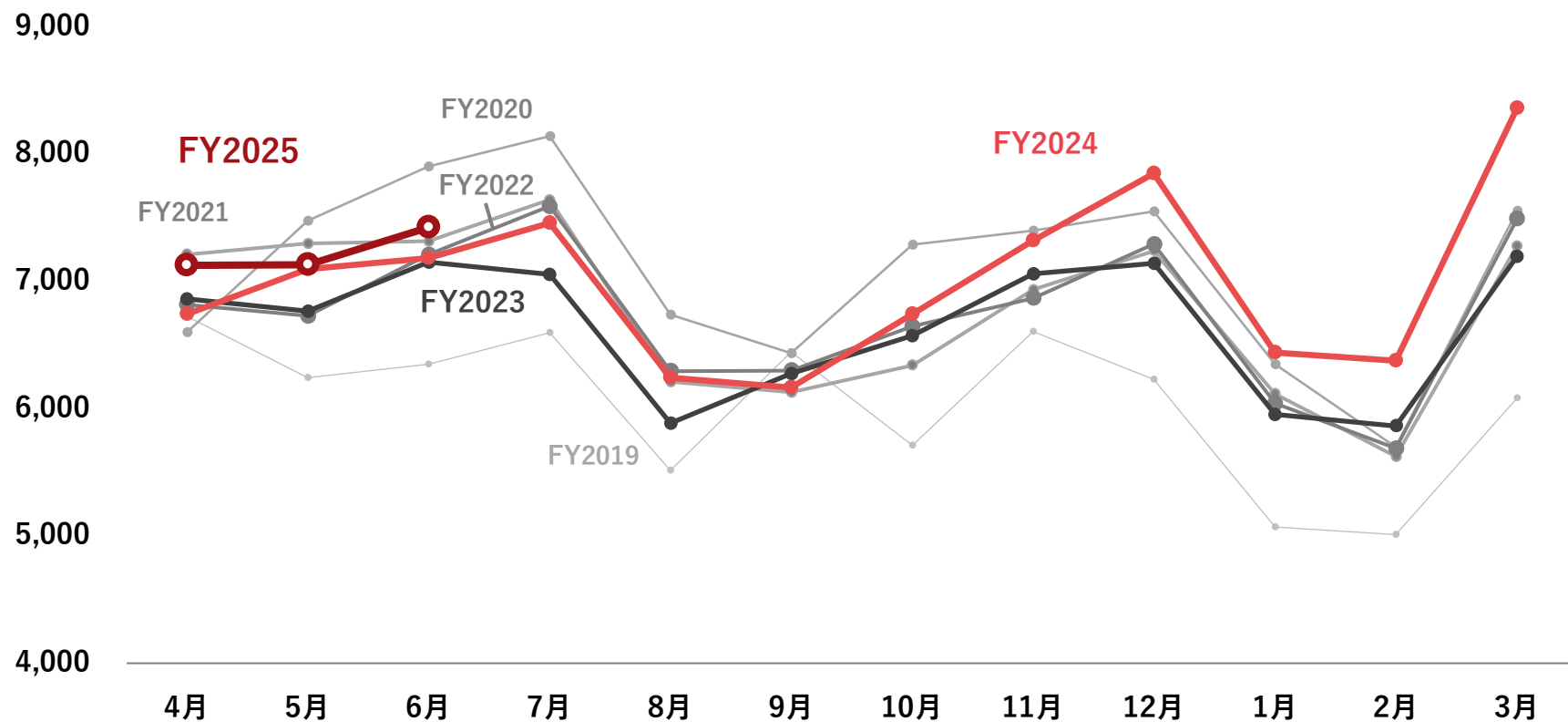
	2025年3月期 第1四半期実績	2026年3月期 第1四半期実績	対前年同期実績 増減額	増減率
売上高	21,034	21,698	+664	+3.2%
営業利益 (営業利益率)	2,270 (10.8%)	1,689 (7.8%)	△580	△25.6%
経常利益 (経常利益率)	2,317 (11.0%)	1,836 (8.5%)	△481	△20.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,568	1,231	△337	△21.5%
1株当たり四半期純利益	45.79円	35.78円	△10.01円	—

※ △は損失または減少を表します。以下、すべてのページにおいて同様に表記します。

月次売上高の推移【連結】

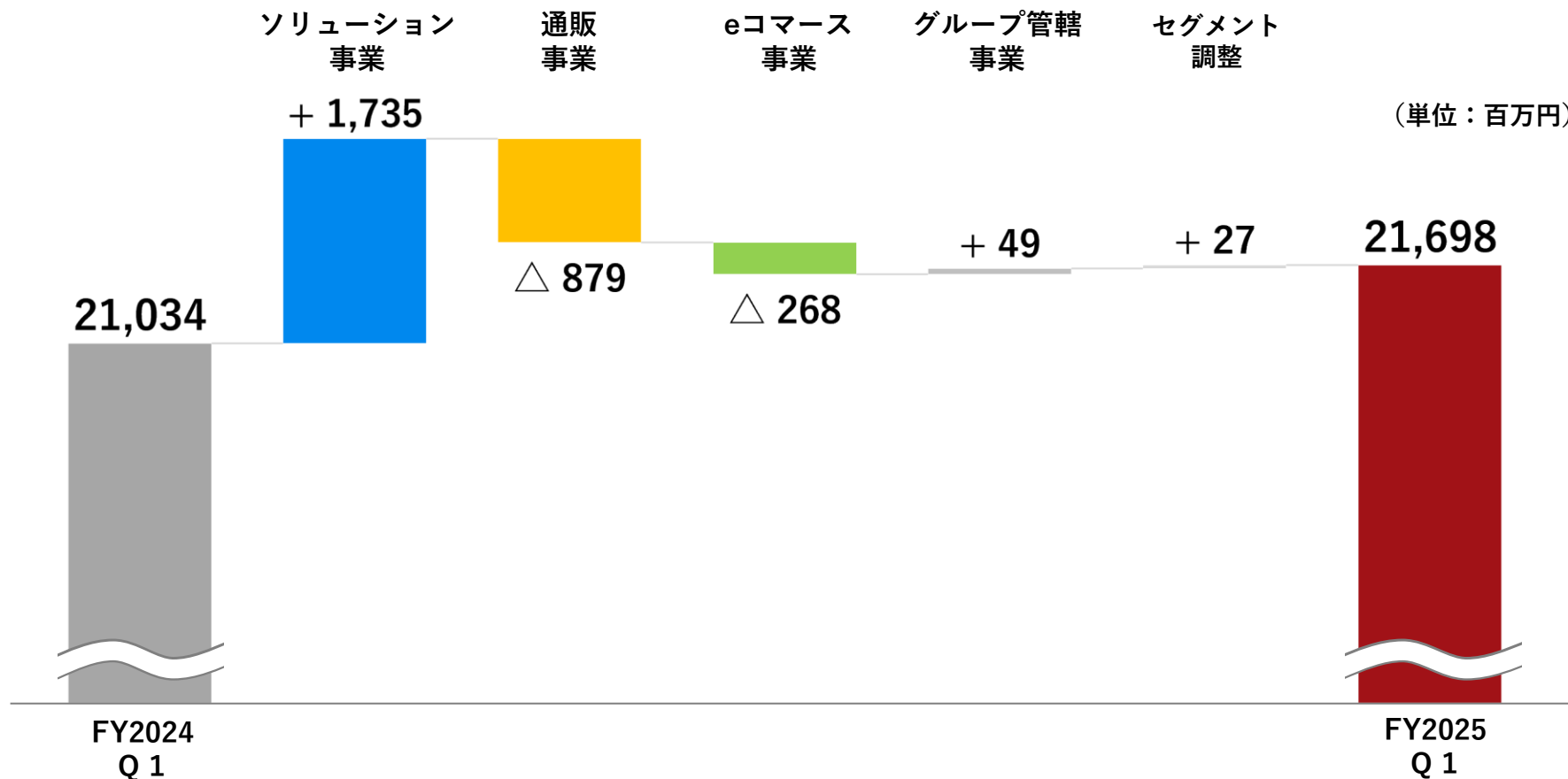
- 月次売上高は、前期を上回る水準で推移。

(単位：百万円)



売上高の増減分析【連結】

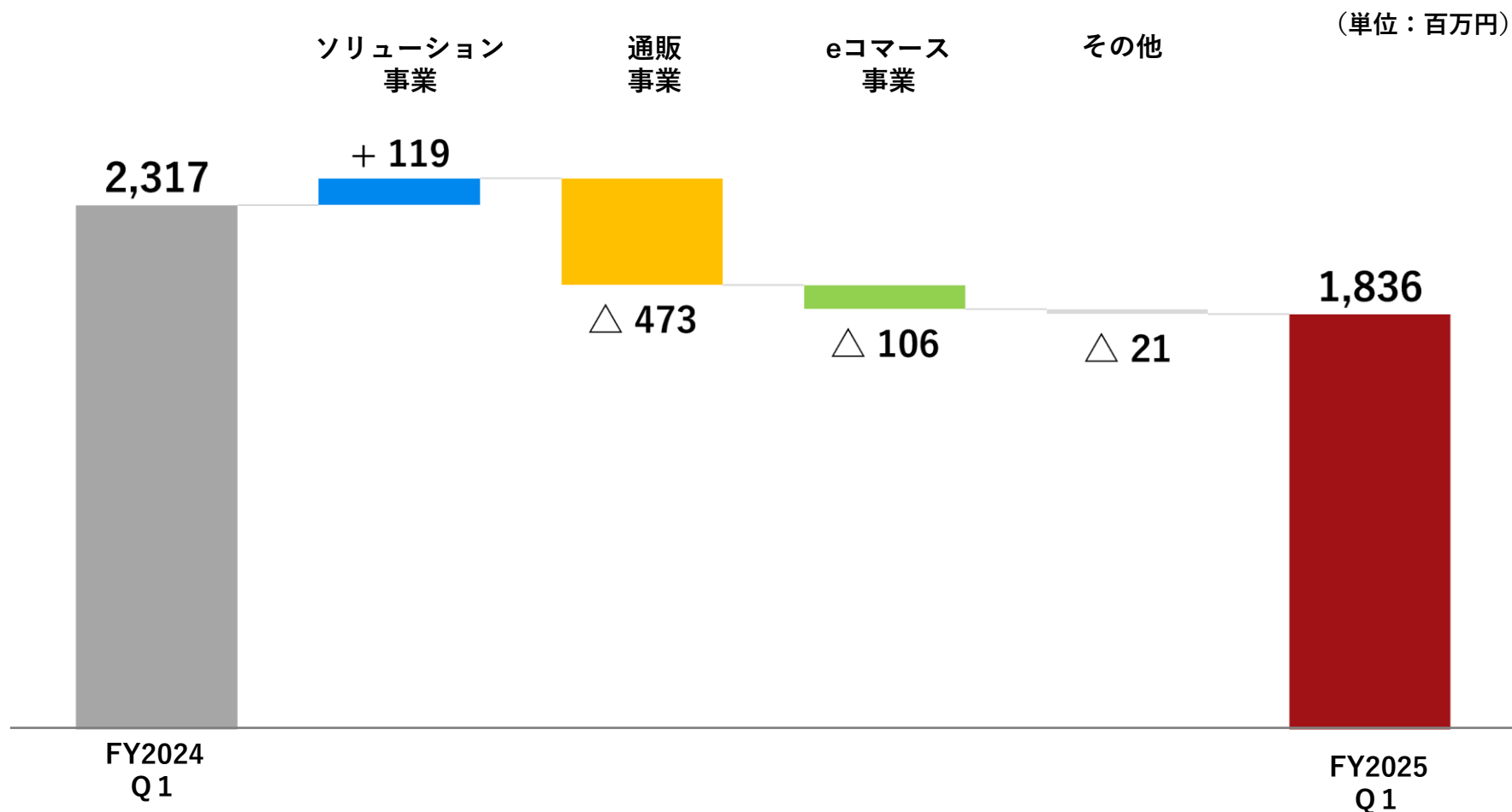
- 通販事業、eコマース事業は減収も、ソリューション事業の成長により、連結全体では増収



※ 当期（FY2025）より報告セグメント区分を一部変更しております。（FY2024までグループ管轄事業に含まれていた一部海外子会社を通販事業に移管。）

経常利益の増減分析【連結】

- ソリューション事業は成長拡大するも、利益面では他セグメントの減収影響をカバーできず、連結全体では減益。
- 通販事業は受注に苦戦し、大幅な減益。eコマース事業も1Qでは減益（赤字）。



セグメント別業績【2026年3月期 第1四半期実績】

(単位：百万円)
※()内は前年同期比

売上高

セグメント利益

ソリューション事業

8,663
(+25.0%)

275
(+76.3%)

増収増益

決済代行における貸倒引当金の
影響は残るものの、他サービスは
堅調に推移

通販事業

10,172
(△8.0%)

1,583
(△23.0%)

減収減益

春物・盛夏物の受注獲得に苦戦
収益性の維持に注力

eコマース事業

3,148
(△7.8%)

△77
(前年同期は29百万円)

減収減益

厳しい市況のなか、事業リストラの
完遂に注力

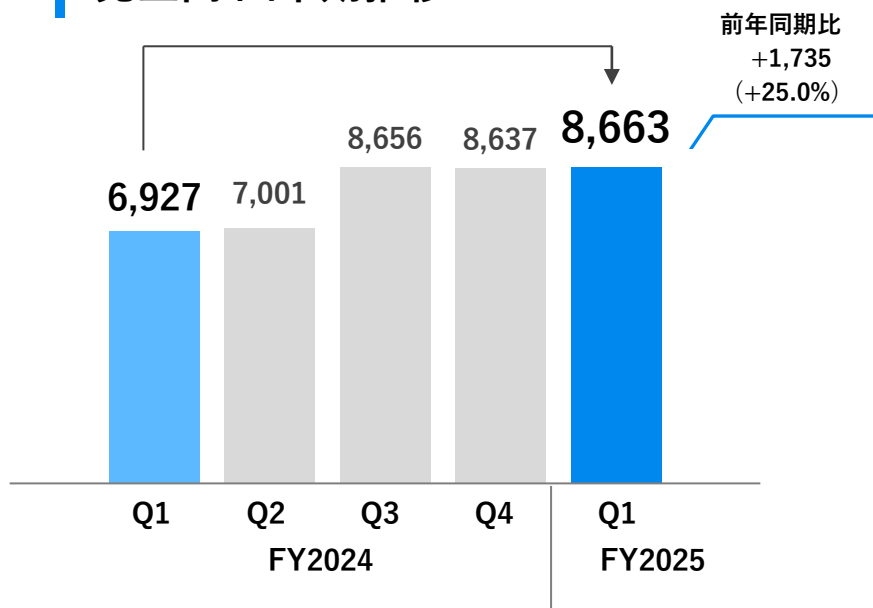
※ 当期（FY2025）より報告セグメント区分を一部変更しております。（FY2024までグループ管轄事業に含まれていた一部海外子会社を通販事業に移管。）
前期比較につきましては、前年数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しています。

ソリューション事業セグメント

- 物流代行、決済代行、マーケティングサポート等の各種サービスが伸長し増収。
- 決済代行的貸倒引当金の影響は残るものの、他サービスが牽引し増益。

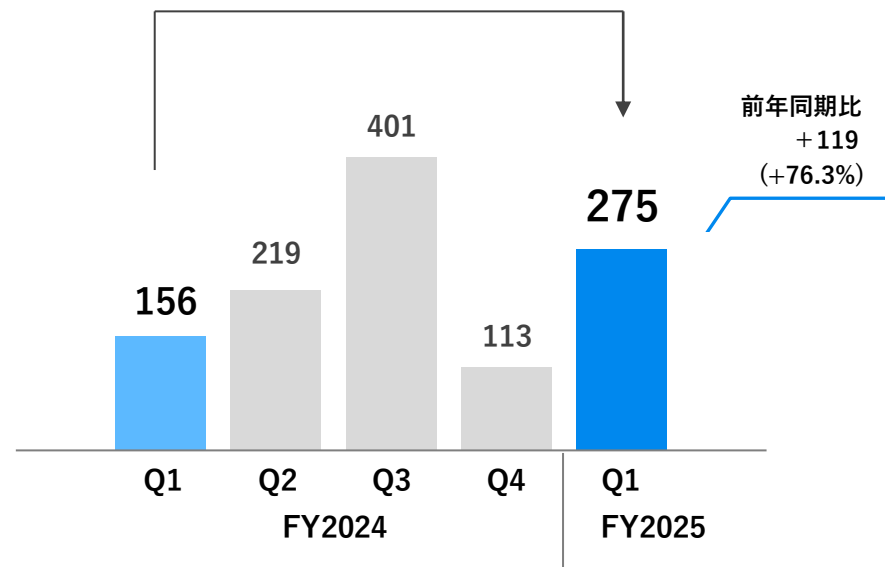
第1四半期	売上高：	8,663百万円	(前年同期比 +25.0%)
	セグメント利益：	275百万円	(前年同期比 +76.3%)

売上高 四半期推移



セグメント利益 四半期推移

(単位：百万円)

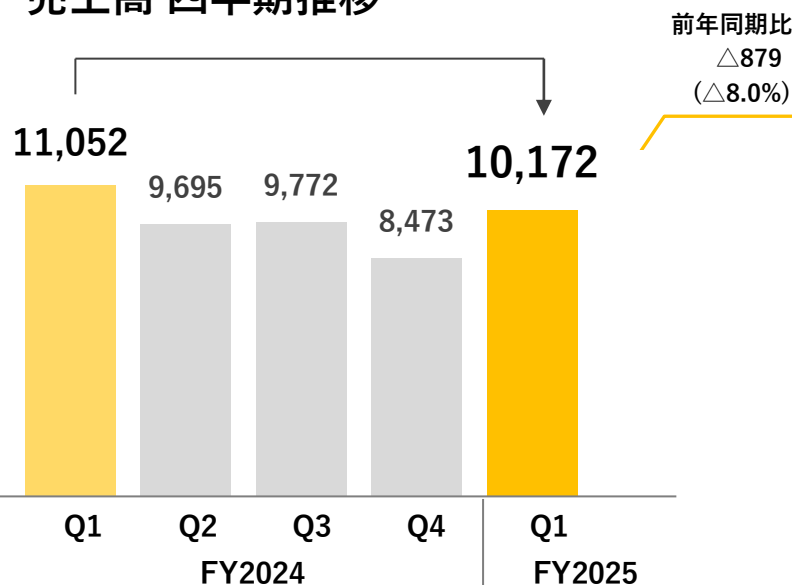


通販事業セグメント

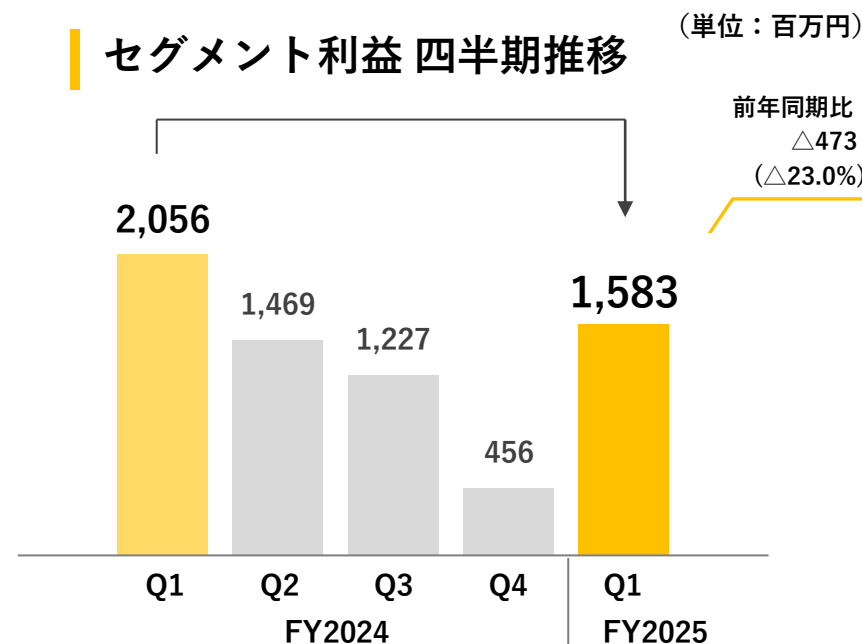
- ・ 春物・盛夏物の受注不振の影響により減収減益。
- ・ 在庫コントロールや販促費抑制などの事業効率化を推進。

第1四半期	売上高：	10,172百万円	(前年同期比 $\triangle 8.0\%$)
	セグメント利益：	1,583百万円	(前年同期比 $\triangle 23.0\%$)

売上高 四半期推移



セグメント利益 四半期推移



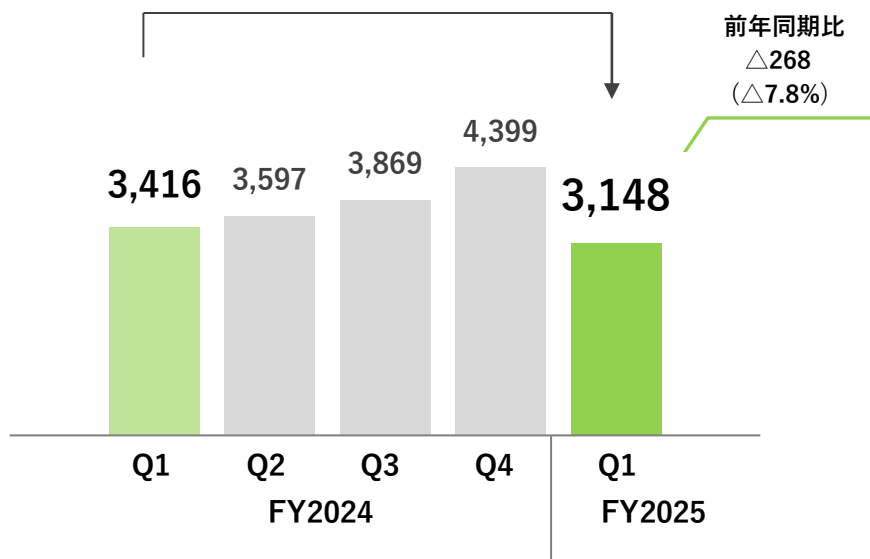
※ 当期（FY2025）より報告セグメント区分を一部変更しております。（FY2024までグループ管轄事業に含まれていた一部海外子会社を通販事業に移管。）
前期比較につきましては、前年数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しています。

e コマース事業セグメント

- 事業リストラの完遂とビジネスモデルの転換を推進。

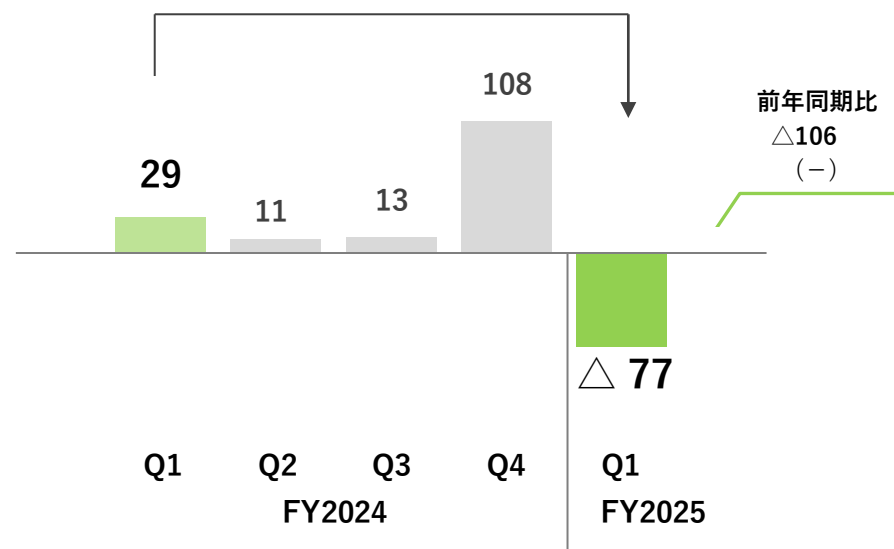
第1四半期 売上高： 3,148百万円（前年同期比 $\Delta 7.8\%$ ）
セグメント利益： $\Delta 77$ 百万円（前年同期は 29百万円）

売上高 四半期推移



セグメント利益 四半期推移

(単位：百万円)



貸借対照表の推移【連結】

- 四半期純利益の計上などにより、健全な財務状況を維持。

(単位：百万円)

2025年 3 月期末		2026年 3 月期 第 1 四半期末	増減額	<主な増減項目>	
流動資産	38,679	36,448	△2,231	現金及び預金 未収入金 売掛金	△2,124 △1,193 + 646
固定資産	17,352	18,031	+679		
資産合計	56,032	54,480	△1,552		
流動負債	17,903	15,724	△2,178	未払金 未払法人税等	△978 △815
固定負債	1,658	1,686	+28		
負債合計	19,561	17,410	△2,150	利益剰余金 資本金 資本剰余金	+ 284 + 112 + 112
純資産合計	36,470	37,069	+598		
負債純資産合計	56,032	54,480	△1,552		
自己資本比率	65.1%	68.0%	+3.0P		

2026年 3 月期 通期業績予想

2026年 3 月期 通期業績予想【連結】

- ・ 前回（2025年 5 月 7 日）発表した通期業績予想数値に変更はございません。

（単位：百万円）

	2025年 3 月期 実績	2026年 3 月期 予想	対 前年同期実績 増減額	増減率
売上高	84,030	85,000	+969	+1.2%
営業利益 (営業利益率)	6,052 (7.2%)	5,800 (6.8%)	△252	△4.2%
経常利益 (経常利益率)	6,424 (7.6%)	6,000 (7.1%)	△424	△6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,267	4,000	△267	△6.3%
R O E	12.2%	10.7%	△1.5P	—

スクロールグループ中長期ビジョン
/FY2025経営計画

Marketing Solution Company

中長期ビジョン・FY2025重点方針

中長期ビジョン

真のマーケティングソリューションカンパニーになるために
マーケティングソリューション領域で独自性を磨く

FY2025 重点方針：独自性を追求した収益力の強化

顧客のニーズに合わせた付加価値の高いビジネスへとシフトする。

セグメント別重点方針

育成事業：ソリューション事業

ソリューションメニューの選択と集中

物流代行：B2B、B2G領域の拡大

決済代行：与信・債権管理体制強化

BPO：領域拡大、提供価値強化

基幹事業：通販事業

5年、10年先を見据えた事業基盤構築

高収益性の維持：高度化経営の深化

+ 組合員ニーズによる付加価値の追求

+ アパレルソリューションの確立

改善事業：eコマース事業

事業リストラの完遂

事業構造改革を推進

+ ビジネスモデルの転換

経営基盤

CLO設置によるグループ全体の物流リソースの最適化とソリューションビジネスの推進

DXを通じた業務の効率化と生産性の向上

自律的な成長を後押しする「人材開発」への取り組み

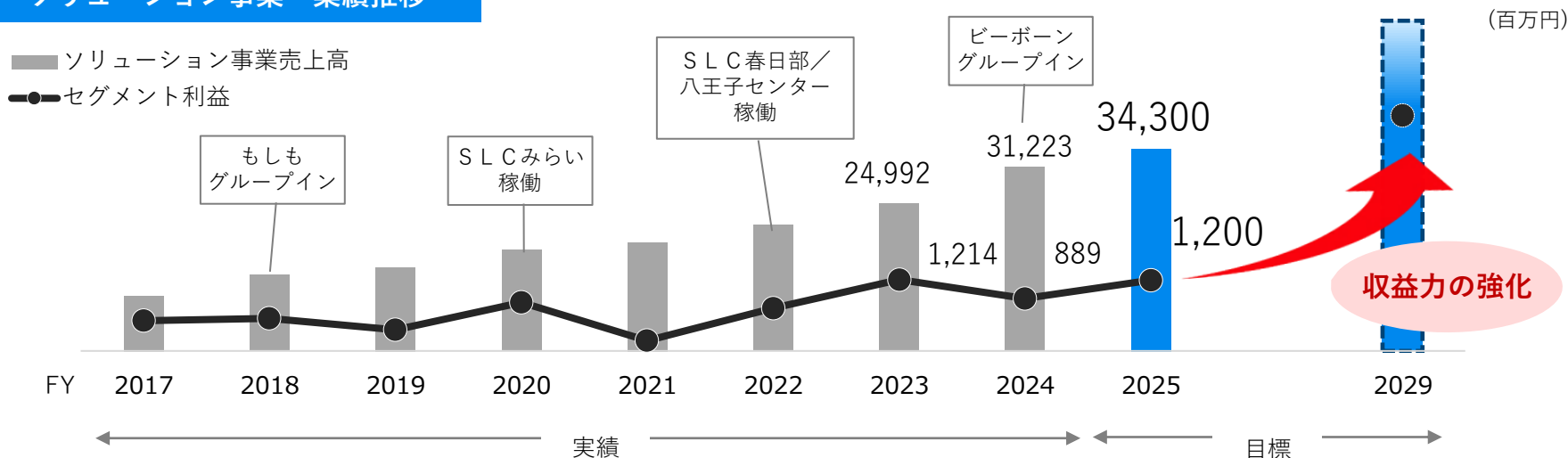
FY2025 セグメント別重点方針（ソリューション事業の成長戦略）

- 育成事業であるソリューション事業は、事業規模の拡大と収益力の強化に注力

ソリューション事業 成長戦略

- ・オーガニック成長：顧客視点のマーケティングソリューションを実現
- ・インオーガニック成長：ソリューションサービス機能の強化
- ・新たな事業領域への進出

ソリューション事業 業績推移



L P Bをメインメニューとして経営資源を集中する

- ソリューション事業、特にL P B（Logistics、Payment、B P O）を中心に投資および事業基盤の整備を推進。

Logistics

物流拠点の拡張

「SLCつくば」開設

- 関東圏の物流ニーズの高まりを受け、関東エリア第3の拠点「SLCつくば」を開設



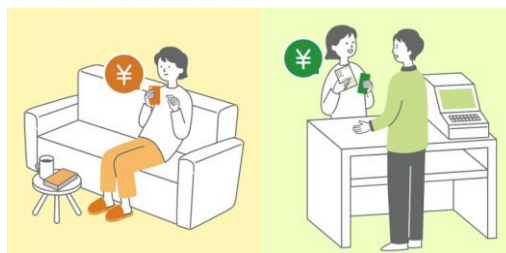
顧客獲得、事業成長

Payment

貸倒リスクの低減

債権管理体制の強化

- 前期の債権不払率の悪化を受け、与信、債権管理体制を再構築



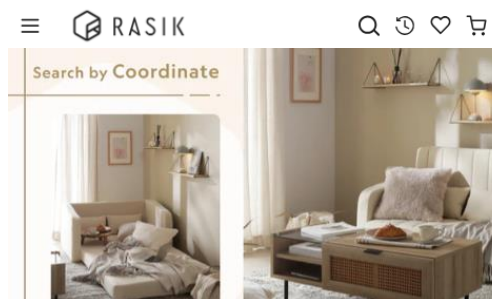
収益性の向上

B P O

ノウハウの循環活用

DtoCビジネス展開

- マーケティングサポートのノウハウを活用し、自社リテールを展開



事業領域の拡大

Appendix

- ・ 事業概要
- ・ 会社概要

事業セグメントおよび事業概要 (2025年6月30日現在)

通販まるごとソリューション

scro|l

ソリューション 事業

E C・通販事業者を360度サポートする「ワンストップソリューションサービス」を提供しています。

scro|l
360°

CatchBall
株式会社キャッチボール

MOSHIMO

BeBorn

YINHENA
CHENGDU INTERNET SERVICE

ZonExpert

※ZonExpert株式会社 (2025年4月 グループ入り)

通販事業

主に生協宅配事業の組合員様向けに通信販売（カタログ・一部インターネット）を展開しています。

scro|l

scro|l
international

詩克樂商貿（上海）
有限公司

SCROLL
VIETNAM
CO.,LTD.

SCROLL
BANGLADESH
CO.,LTD.

e コマース事業

主に自社サイトやショッピングモールを通じて、専門特化した商品のインターネット販売を行っています。

AXES

Naturum

株式会社ミヨシ

木草花
SORAMOCKA

Travex
TOURS

グループ管轄 事業

全国各拠点の物流センター運営、不動産の有効活用の機能を担っています。

scro|l
logistics

※当期（FY2025）より報告セグメント区分を一部変更しております。
（FY2024までグループ管轄事業に含まれていた一部海外子会社を通販事業に移管。）

会社概要

株式会社スクロール (Scroll Corporation)

本 社	：	静岡県浜松市中央区佐藤二丁目24番 1 号
代表取締役社長	：	鶴見 知久
設 立	：	1943年（昭和18年）10月 1 日
証券コード	：	8005（東京証券取引所プライム市場）
資本金	：	6,229百万円（2025年 6 月30日現在）
主な事業内容	：	E C・通販事業者等へのソリューション事業 アパレル、雑貨等のE C・通販事業

スクロールグループ

統合報告書 2025

2025年 6 月30日発行

みどころ

- ・トップメッセージ
- ・価値創造ストーリー
- ・社外取締役インタビュー

■公開URL

<https://www.scroll.jp/ir/annual/>



通販まるごとソリューション



お問合せ窓口

経営統括部 経営企画課

TEL : 053-464-1114 (直通)

E-mail : ir@mb.scroll.jp

ホームページアドレス <https://www.scroll.jp/>

■将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。